



# MISATO KURIMUNE

Press Kit 2025 – 2026



作家名  
栗棟美里

活動拠点  
兵庫県

表現領域  
写真  
レンチュラー  
ミクストメディア  
アルゴリズム / AI プロセス

主題  
知覚  
記憶  
イメージの構築

---

栗棟美里は、イメージがどのように知覚や記憶を形成し、同時にそれらを揺るがすのかを探究する現代美術家である。写真、レンチュラー構造、アルゴリズムのプロセスを横断しながら、イメージを固定された表象としてではなく、視点や時間、技術的条件によって変化する動的な構造として扱う。その制作は、視覚の確かさを前提とする従来の認識に対して、私たちが見ているものの成立条件そのものを問い直すものである。

短文 (100字以内)

栗棟美里は、知覚・記憶・イメージの関係を主題とする現代美術家である。写真、レンヂキュラー、アルゴリズム的プロセスを用いながら、視覚的リアリティがどのように構成され、揺らぐのかを探究している。

---

中文 (220字以内)

栗棟美里は、知覚、記憶、イメージの構築をめぐる関係性を探究する現代美術家である。写真、レンヂキュラー構造、アルゴリズム的プロセスを横断しながら、鑑賞者の視点や認識によって変化するイメージを制作している。その作品は、物質としての写真と計算的なイメージ生成のあいだを往還し、現代における視覚の不確かさを浮かび上がらせる。イメージを「記録」ではなく「構造」として捉えることで、現実がどのように認識されているのかを問い直している。

---

長文 (430字以内)

栗棟美里は、知覚、記憶、イメージの構築プロセスを主題とする現代美術家である。写真、レンヂキュラー構造、アルゴリズム的プロセスを組み合わせることで、視点や時間の変化に応じて像が変容する作品を制作している。これらの作品は、イメージを固定されたものとしてではなく、鑑賞者の身体的・認知的関与によって変化する構造として提示する。制作の中心にあるのは、「見る」という行為がいかにかに構成されているのかという問いである。写真が現実の記録として機能してきた一方で、現代においてはイメージは生成・加工・流通の過程を経て、常に更新され続けている。栗棟の作品は、そのような環境において視覚的な確かさがどのように成立しているのかを検証する。近年は、アルゴリズムによるイメージ生成を取り入れ、人間の記憶や認識のプロセスとの類似性にも着目している。物質的な支持体と計算的なプロセスが交差する地点において、作品は単なる視覚表現を超え、知覚そのものを問い直す装置として機能する。

## What are we really looking at?

私たちは実際に何を見ているのか。

本制作は、知覚・記憶・イメージの関係を問い直すものである。

写真が現実を記録する装置として機能してきた一方で、現代においてイメージは多様なプロセスを経て生成され、視覚体験もまた固定されたものではなくなっている。

レンチキュラー構造を用いた作品では、鑑賞者の視点や身体の移動に応じて像が変化し、知覚が常に揺らぎ続ける状態を可視化する。

さらにアルゴリズムによるイメージ生成を導入し、記憶と視覚の関係を異なる側面から捉えている。

これらのプロセスを通して、イメージがどのように現実を形づくり、その確かさを揺るがしているのかを明らかにする。

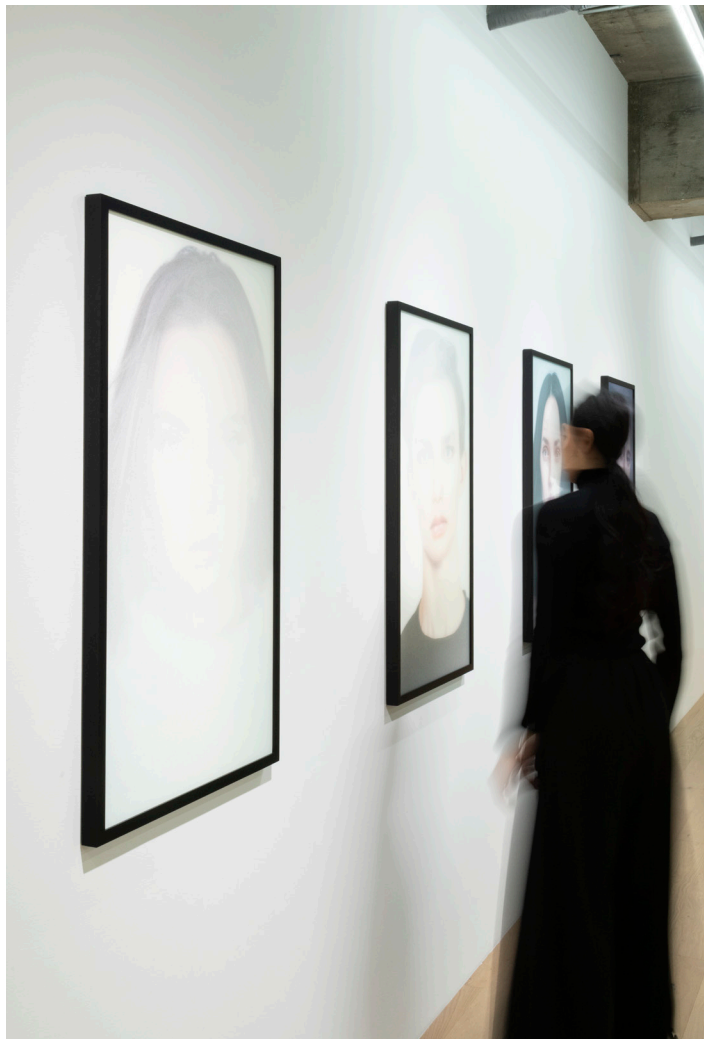
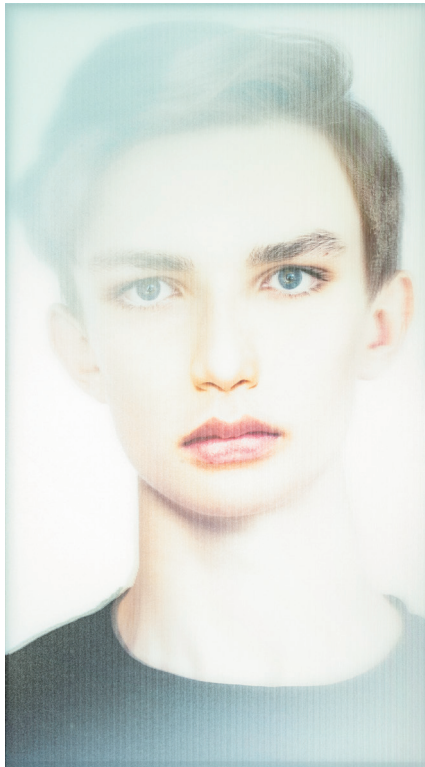




Photo: Hyogo Mugyuda

あなたはこの世界にいるかもしれない。もしくはいないかもしれない。

2020 / ink-jet print, lenticular lens / 190×120cm / unique per size 10 size variations



*Images/Portrait #28*

2025 / UV print on clear acrylic plate / 95.6×54×0.3cm / unique per size 10 size variations

MISATO KURIMUNE — PRESS KIT



*Display #03*

2025 / UV print on clear acrylic plate / 67.6×120×0.5cm / unique per size 10 size variations



Still 02



Still 05



Still 10

*Flashback #20250318 – Still Images* 2025



*Flashback #20250318 – Motion A*

2025 / Single channel video / 30 sec



個展  
2026

What are we really looking at?  
TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪



Photo : 藍仲軒 LAN Chung-Hsuan

グループ展  
2025

間ま MA  
AKI Gallery, 台北

キュレーション、展覧会、プレス、作品収蔵、  
ライセンスに関するお問い合わせは、  
以下までご連絡ください。

メール

[info@misatokurimune.com](mailto:info@misatokurimune.com)

ウェブサイト

[www.misatokurimune.com](http://www.misatokurimune.com)

ギャラリー

TEZUKAYAMA GALLERY

[info@tezukayama-g.com](mailto:info@tezukayama-g.com)

通常、3～5営業日以内にご返信いたします。

対応言語：日本語／英語